

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	鎌ヶ谷巧業(株) 新飯田工場 南区 新飯田字松子江2099 外6筆 市街化調整区域 工場, 2016年12月 竣工 8,334.50 m ² 2,778.27 m ² 2,778.27 m ² 地上1階 S造 実施設計段階評価 2010年7月8日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.9}{47.6} = 0.9$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 -
			更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.6		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.0		節水	LR2.1.1 1.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

計画建物の配置を、敷地の奥まった部分に計画し、周囲へ圧迫感を当てえないように計画した。
建物の積載荷重に余裕を持たせ、将来の作業機械等の変化にも対応可能にし、建物の長寿命化に配慮した。

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鎌ヶ谷巧業(株) 新飯田工場	階数	地上1階
建設地	新潟県新潟市南区	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 竣工	評価の実施日	2010年7月8日
敷地面積	8,335 m ²	作成者	酒井 栄一郎
建築面積	2,778 m ²	確認日	2016年5月9日
延床面積	2,778 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 67%
③上記+②以外の 67%
④上記+ 67%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	鎌ヶ谷巧業の50周年記念事業の一環として、地域貢献をめざし一般(小学生含む)にも工場を開放、見学できるようにしたい。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
採光・換気・通風等に考慮し、窓の位置・高さを壁面の前後 同じ位置とし、出来るだけ多く設置した。	作業員用の休憩室として、50.5m ² の別室を設置し、工場部分は、床荷重にゆとりを持たせ、将来の変化に対応可能とした。	建物の配置を敷地奥の部分とし、周囲への圧迫感の軽減に考慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
照明器具にLEDを採用し、省エネルギーに配慮している。	構造体と仕上げ材を容易に分離できる方法・材料で計画した。	工場部分には空調設備を設置せず、風下の地域への影響を少なくする計画になっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される